

整理 番号	地区名	事業名	実施 箇所	全体事業内容	事業予定期間	全体事業費 (百万円)
2	北海道 太平洋 中部地区	水産基盤整備事業	広尾町 大樹町 豊頃町 浦幌町 白糠町 釧路市	漁場施設 十勝広尾漁場 増殖場 A=25.0ha 十勝広尾漁場 魚礁漁場V=56,000空m3 十勝大樹漁場 魚礁漁場V=56,000空m3 十勝大津漁場 魚礁漁場V=56,000空m3 西庶路漁場 増殖場 A = 30.0ha 白糠沖合漁場 魚礁漁場V=70,000空m3	令和4～令和13年	8,500

<p>事業の趣旨 (背景・必要性・効果等)</p>	<p>海洋環境の変化等による魚種変化等が見られる中で、持続可能な漁業生産を確保するためには、地域の栽培漁業や資源管理型漁業の取り組みと一層の連携を図りつつ、地区全体の生産力の向上を図る必要がある。</p> <p>当地区では、「北海道太平洋中部地区水産環境整備マスタープラン（以下、マスタープランとする。）」において水産環境整備の基本方針を定めており、地域で増殖する魚種の生活史に沿った生息環境の創出や、飼料生物の増大などを通じ海域全体の生産量の底上げに取り組むこととしている。</p> <p>マスタープランでは幼稚魚育成や未成魚保護育成、産卵増殖等生息環境の不足が見られ、その整備により効果が見込まれるヤナギダコやツブ類を「対象種」としており、そのほかに地区全体に分布し、生活史の知見が豊富なソウハチ（カレイ類）を地区海域環境の指標とする「指標種」として定めている。</p> <p>当地区ではマスタープランにおいて指標種、対象種の生息環境が不足している海域を把握し、水産環境整備を行い、整備施設において行うモニタリング調査等を通して施設への蛸集や飼料生物の増大により指標種であるカレイ類等に適した生息環境が創出されたことを確認した。</p> <p>このため、地区で行われている放流事業や資源管理等の取組と連携して、資源の底上げや維持、増加が見込まれるカレイ類やヤナギダコ、ツブ類等多様な魚種の生活史に配慮した生息の場を造成することにより、地区全体の生産力を上げ、持続可能な漁業生産の確保を目指す。</p>	
<p>事業採択基準</p>	<p>計画事業費 受益個数</p>	<p>3億円を超える 200戸以上</p>